

ISO 45001 には、厚生労働省の「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」で求められている、安全衛生活動などが明示的には含まれていません。

JIS Q 45100 は、日本の国内法令との整合性を図るとともに、多くの日本企業がこれまで取り組んできた具体的な安全衛生活動、日本における安全衛生管理体制などを盛り込み、JIS Q 45001 と一体で運用することによって、働く人の労働災害防止及び健康確保のために実効ある労働安全衛生マネジメントシステムを構築することができます。

JIS Q 45100 には、国際規格の ISO45001 に「日本独自の安全衛生活動の内容」を盛り込まれていることになるのです。

つまり、JIS Q45100 の内部監査員資格を取得することで、ISO45001 の内部監査員資格も得られることになるのです。

JIS Q 45100 内部監査員を養成するセミナー

本セミナーでは、ISO45001 及び JIS Q 45100 の要求事項等を解説するとともに、労働安全マネジメントシステムを効果的に運用するための内部監査手法を、ロールプレイ、ケーススタディを取り入れつつ実践的に習得していただきます。

規格の内容などについてわかりやすく解説します。

セミナーの最後には修了テストを実施して合格された方には修了証を発行しますので、社内資格の認定などに役立ててください。

受講対象者

- JIS Q 45100 内部監査員候補の方

セミナーの内容

- 制定の経緯
- 労働安全衛生マネジメントシステムの意義
- 労働安全衛生法の概要
- JIS Q 45001 及び JIS Q 45100 の規格内容
- 内部監査ロールプレイ

セミナーの実施概要

日程	(1日目) 9:30~17:00 (2日目) 9:30~17:00
受講料	55,000 円(税込)

受講料には、テキスト代・昼食代が含まれます

講師からのメッセージ

担当講師 花井 健夫

ISO45001 (労働安全衛生マネジメントシステム OHSMS) が、QMS(品質),EMS(環境)同様、世界的な規格として発行されました。しかし日本国内では、難解な労働安全衛生法、労働基準法などを最優先して順守する義務がありません。

現場主体(例えば改善提案・KY・ヒヤリハットなど)の活動を新たに含めた、JIS Q 45100 (厚生労働省の指針) がほぼ同時に発行されました。この指針と、ISO45001 を同時に内部監査されれば、さらに有効性はアップされます。

今回、新たに準備させていただいた、JIS Q 45100 内部監査手法を導入し、適切に実施されれば、「鬼に金棒」となり、死亡災害を初めとする重大災害を確率的に減少できることは、間違いありません。

- ◇ 受講はホームページから、又は Fax 用申込み用紙にてお申込みください。
- ◇ お申込みから修了証発行までのフローは「研修の流れ」をご覧ください。
- ◇ 研修サービスは「研修センターのサービスのご案内」をご覧ください。